



ウェイクサーフィンを安全に楽しむ為の注意事項

【ウェイクサーフィンの特徴】

- ・ボートの船尾から、比較的近い所（2m～7m位の範囲）で、ボートの走行時に生じる引き波を利用して、サーフィンを楽しめます。
- ・船内に大量のバラストを積み、重量を重くし故意に走行時の抵抗を大きくして、低速（18km/h前後）で走行します。
- ・ウェイクサーフィンのテイクオフは、比較的ボートに近い所からロープに引っ張られてスタートします。

【注意事項】

(1) トーイング地点の選定について

悪天候、他船で混み合っている地点、障害物の多い地点、遭難や衝突による大事故の恐れがある地点では、トーイングを実施しないこと

(2) トーイングボートについて

ウェイクサーフィンは、船尾に近い所で行うスポーツです。ボートの種類によっては、船尾にプロペラが装着されているものもあります。プロペラが最後尾に装備されているボートだと、ライダーがプロペラに巻き込まれる危険があります。

ウェイクサーフィンを安全に楽しむ為にもっとも適しているボートは船内機です。

くれぐれも、船外機、船内外機でウェイクサーフィンはしないで下さい。

プレジャーボートのエンジン方式は、大きく分けて4つあります。

<船内機／インボードエンジン>

エンジン本体が船内に取り付けられ、プロペラは、船底から出ているシャフトに取り付けられています。また、プロペラは真後ろに舵が取り付けられています。

プロペラが船底に装着されており、さらにその後ろに舵が装着されています。走行時にプロペラは、見える所にはなく、更にプロペラ後部に舵がある為、最も安全性が高いエンジン方式と考えられます。

<船外機／アウトボードエンジン>

エンジン本体がボートの外部に取り付けられており、プロペラが最後尾に付いています。

プロペラが最後尾に付いている為、ウェイクサーフィンをするには最も危険なタイプです。絶対にウェイクサーフィンで使用しないで下さい。



<船内外機／インボード、アウトドライブエンジン>

エンジン本体が船内に取り付けられ、プロペラと一体になっているドライブが船尾に取り付けられているため、プロペラの位置が船尾ステップの真下にきます。

プロペラが船尾ステップの真下に位置する為、ウェイクサーフィンをするには、最も危険なタイプです。

絶対にウェイクサーフィンで使用しないで下さい。

<ジェットエンジン>

エンジン本体が船内に取り付けられており、船内にあるプロペラで一旦船内のドライブ内に水を取り込み、船尾から強い水流を噴射させます。

船尾から強い水流が噴出する為、ライダーがテイクオフする時に、水流がまともにライダーにあたります。テイクオフ時にいきなりアクセルを上げないで、徐々に上げていくように気をつける必要があります。

(3) ライダーの服装・装備品について

乗船する者は全員ライフジャケットを着用すること。

サーフィンをする者は、時候に応じてウェットスーツを着用すること。

リーシュコードは装着しないようお願いします。

(4) 体調について

体調不良の方や飲酒をされた方のトーイングは控えるようお願いします。

(5) 連絡先について

万が一トーイング中に事故が起きた場合、すぐに関係部署へ連絡ができるよう携帯電話には緊急連絡先を必ず登録しておいてください。(海上保安庁：118)

2017年12月8日

一般社団法人日本ウェイクサーフィン協会